

### 平成27年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	八方尾根植生回復及び高山植物保護事業		
事業主体 (連絡先)	八方尾根自然環境保全協議会 長野県北安曇白馬村北城 5732-2 TEL 0261-72-2477		
事業区分	(5) 環境保全及び景観形成事業		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	実績額 1,620,340 円 (うち支援金 : 1,184,000 円)		

#### 事業内容

裸地化が目立つ八方尾根国立公園内の植生を回復させるため、特別処理したマット300㎡を敷き、在来の高山植物の種子を播種した。

入山者の靴底に付着して里の雑草の種が侵入するのを防ぐ泥落としマット10枚を設置した。

高山植物の名前を紹介するネイチャーラベル20枚を作り増し、自然観察会の折に設置した。



【作業中の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ① 八方尾根の植生回復
- ② 住民参加による後世への継続
- ③ 自然の大切さの啓蒙
- ④

#### 事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 300㎡ではあるが、裸地化が激しかった第2ケルン南斜面の保護が予定どおり図られた。
- ② 若者も含め各種団体からボランティアで約60名が参加し、事業が未来へ確実に引き継がれていく手ごたえを感じた。
- ③ 泥落としマット、ネイチャーラベルともに、そこに貴重な自然があることの意味合いと、皆が心がけていくべきものであることを、国立公園に足を踏み入れる人々に伝えるものとなった。

#### ※自己評価【A】

##### 【理由】

大勢の参加者により、計画していた場所へのマット敷設が出来た。ネイチャーラベル20枚は、写真にもこだわり良いものが出来た。

#### 今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

八方尾根は自然の宝庫であるとともに地域住民の心の拠り所であるが、裸地化しているところはまだまだ多くある。毎年継続して自然観察会、植生回復作業を続けていくことが大切なことと考えている。裸地化面積の大きい今の場所でのマット貼りは少なくともあと2年は行いたい。場所柄、その取り組みは入山者の目に確実に留まり、自然保護の啓発になることは間違いない。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある